伊勢崎市立境南中学校だより　　令和６年１月１１日

南の風

NO．１７

『明日の力は 今日にあり』
自らの志を大切に、共に歩もう！

新年となり、３学期を生徒の皆さんと共に迎えることができたことを皆で喜び、感謝したいと思います。

ところで、元旦の午後、能登半島において震度７の地震が起こりました。自然災害の地震の怖さを、改めて知らされることとなりました。能登半島地域では、その後、多くの方々の懸命な救助活動が進められる中、今なお被災した大変な状況は続いています。余震も幾度も起こっています。被災地の多くの学校は避難場所となり、学校再開の予定も立っていないとのことです。

被災により亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りしたいと思います。また、未だ安否不明の多くの方々の一刻も早く救助されることを願うとともに、避難している方々にお見舞い申し上げます。

２０２４年、令和６年が始まりました。そして、３学期がスタートしました。皆さん、だれもが新たなステージに立ったのです。３学期は１年間の中で最も短い学期です。今回の災害を思うと、「一日一日の大切さ」を一層感じます。

【校舎南にある青銅製の日時計】

そこで、新たなステージの初日、皆さんと共有したい境南中のことを話したいと思います。校庭に日時計があるのを知っていますか。青銅でできていて、歴史を感じさせる立派な日時計です。その日時計の台座にある言葉が記されています。そこに『明日の力は 今日にあり』とあります。どんな意味なのでしょうか。どうも、明日の力は明日にあるのではないようです。明日発揮される力や目指す姿は、今日の自分次第ということであると思います。さらに、将来の自分は、今日、今の自分の考え方、取組次第である、ということを意味していると思います。

【日時計の台座にあるプレート】

２学期終業式の式辞で、日々の生徒の皆さんの取組とその心は、躍動にあふれていると話しました。一人一人の行いとその心を三つに分け称賛しました。

○ 人を温かく思いやり・感謝・協力する行いとその心
○ 頼もしい責任ある行いとその心
○ どんなことも学び（成長）につなげる行いとその心

皆さんの多くの素晴らしい行いとその心を強みとしましょう。

３年生は、今の努力を重ねていくことで、４月に新たな景色を見ることになるでしょう。

１、２年生は、４月から一つ学年が上がります。新入生を迎え、１年生は、２年生として後輩に手本を示す先輩となります。２年生は最高学年となり、学校のさらに中核となります。３学期の一日一日をどう生活するかで、４月からの新たなステージの様子がつくられます。

『明日の力は 今日にあり』

健康安全を第一とし、自らの志を大切にし、共に歩んでいきましょう。

【３学期始業式にて校長式辞の要旨から】